

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

<b>事業名</b>	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営							施策番号
								I-1-(1)-②
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額 2,327,657 千円	平成24年度当初予算額 2,269,213 千円	人件費 の目安	金額 1,658,966 千円	(備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています	担当局	病院局
					課長 - 人 職員 - 人		担当課	経営課
					係長 - 人		課長名	大楠

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・24時間体制で出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を提供します(医療体制の維持)。 ・新生児集中治療室(NICU9床)、母体・胎児集中治療室(MFICU6床)の病床数を維持します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療の24時間365日体制を維持します。	<b>成果実績</b>	総合周産期母子医療センターでは、医療体制及び病床数ともに維持でき、24時間体制での医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができました。また、小児救急センターの体制も維持できました。
-----------	---------------------	---	-------------	---

	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【成果の状況】
<b>代表的な成果指標</b>	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)及びNICU9床・MFICU6床の病床数維持	維持	維持	維持		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で維持していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制及び病床数の維持・平成25年度					
	小児救急センターの医療体制維持(1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療の24時間365日体制を維持)	維持	維持	維持	大変順調	順調
	市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療体制を高い水準で維持していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の維持・平成25年度				順調 やや遅れ 遅れ	

<b>活動計画</b>	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	<b>活動実績</b>	下記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新を行いました。
-------------	--	-------------	--

	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
<b>活動指標</b>	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	-	-	実施		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	総合周産期母子医療センター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。					
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	-	-	実施	大変順調	順調
小児救急センター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。				順調 やや遅れ 遅れ		

### 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		成果や活動の状況については、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を維持することができたため、順調としております。  市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	課題  全国的な医師不足の状況が続いていますが、総合周産期母子医療センター及び小児救急センターともに、今後も必要な医師の確保に努めるとともに、必要な医療器械の更新などを行うことが課題であると考えます。  次年度の活動計画(見直し内容)	その結果目指す成果(次年度の成果目標)  総合周産期母子医療センターにおいてはハイリスクな分娩や高度な治療を要する新生児への医療を提供し、小児救急センターにおいては小児患者への救急医療を提供します。
---------------	---	---

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

<b>事業名</b>	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営						施策番号
							II-1-(2)-①
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額 2,327,657 千円	平成24年度当初予算額 2,269,213 千円	人件費 の目安	金額 1,658,966 千円	(備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています	担当局 病院局
					課長 - 人 職員 - 人		担当課 経営課
					係長 - 人		課長名 大楠

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・24時間体制で出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を提供します(医療体制の維持)。 ・新生児集中治療室(NICU9床)、母体・胎児集中治療室(MFICU6床)の病床数を維持します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療の24時間365日体制を維持します。	<b>成果実績</b>	総合周産期母子医療センターでは、医療体制及び病床数ともに維持でき、24時間体制での医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができました。また、小児救急センターの体制も維持できました。				
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)及びNICU9床・MFICU6床の病床数維持	維持	維持	維持		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で維持していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制及び病床数の維持・平成25年度					大変順調	順調
	小児救急センターの医療体制維持(1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療の24時間365日体制を維持)	維持	維持	維持	順調	やや遅れ	
市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療体制を高い水準で維持していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の維持・平成25年度					遅れ		

<b>活動計画</b>	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	<b>活動実績</b>	下記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新を行いました。			
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	-	-	実施		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	総合周産期母子医療センター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。					
必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	-	-	実施	大変順調	順調	やや遅れ
小児救急センター機能を維持するために、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。					遅れ	

### 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	課題  全国的な医師不足の状況が続いていますが、総合周産期母子医療センター及び小児救急センターともに、今後も必要な医師の確保に努めるとともに、必要な医療器械の更新などを行うことが課題であると考えます。
	次年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(次年度の成果目標)
	事業の維持を図るため、必要な医師の確保や、最新の医療器械への更新、システム機能向上などに努め、総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営を通じて、周産期医療及び小児救急医療の充実を図ります。
	総合周産期母子医療センターにおいてはハイリスクな分娩や高度な治療を要する新生児への医療を提供し、小児救急センターにおいては小児患者への救急医療を提供します。